# 更新用証明書インポートツール操作マニュアル

# (証明書有効期限切れ)

Version 1.03 2024 年 3 月 10 日

セコムトラストシステムズ株式会社

© 2017 SECOM Trust Systems CO., LTD.

改版履歴			
版数	日付	内容	
V. 1. 00	2017/11/30	初版発行	
V. 1. 01	2019/04/11	文言と画像の修正	
V. 1. 02	2022/07/10	証明書インポート時の挙動変更を追加	
V. 1. 03	2024/03/10	Windows8.1の削除、文言と画像の修正	
		グローバル  P アドレスの変更	

# 目次

1.	1. はじめに	· <b>· · ·</b> ·	1
2	2. 証明書のインポート手順	, <b></b> .	2
	2.1 パスワードの準備		2
	2.2 アクセスの確認	, <b></b> .	3
	2.3 証明書インポートツールのダウンロード	, <b></b> .	3
	2.4 証明書インポートツールの起動		4
	2.5 インポートされた証明書の確認(証明書確認ページ)	, <b></b> .	8
	2.6 インポートされた証明書の確認(インターネットオプション)		10
3.	3. トラブルシューティング		14
	3.1 『115:データの問合せに失敗しました。』		14
	3.2 『証明書がありません。』		15
	3.3 『550:証明書ファイルは取得できませんでした。認証に失敗しました。』		17
	3.4 『550:証明書ファイルは取得できませんでした。証明書が作成されていない	いか、	もし
	くは既に証明書を取得済みです。』くは既に証明書を取得済みです。』	, <b></b> .	18
	3.5 『確認ページ』が表示されない。		19

1. はじめに

更新用証明書インポートツール操作マニュアル(証明書有効期限切れ)(以下、本マニュ アル)は、セコムトラストシステムズ株式会社(以下、セコムトラストシステムズ)が提供す る更新用証明書インポートツール(CertExpiredRenew.exe)の利用方法を記載したマニュア ルです。

証明書インポートツールは、Web ブラウザを使用しないでクライアント証明書のインポートを自動的に行うためのツールです。

証明書インポートツールをご利用のお客様で有効期限切れ(有効期限切れ後 90 日まで)の クライアント証明書を更新する場合は、本マニュアルの手順を行って証明書を取得してく ださい。

[動作条件]

▼ オペレーティングシステム

日本語 Microsoft® Windows® 11

日本語 Microsoft® Windows® 10

※Windows To Go機能につきましては、動作保証対象外です。

▼ 必須ソフトウェア

証明書インポートツール (CertExpiredRenew. exe)

※本マニュアルの操作手順は、Microsoft Windows10 を使用して作成しております。 ご利用の OS によっては、本マニュアルの画面と多少異なる場合がございます。 2. 証明書のインポート手順

本章では、証明書インポートツールをどのように入手し、どのように使用して証明書をイ ンポートするか手順をご説明します。

🕐 更新操作は更新対象の証明書がインポートされている端末で行ってください。

手順の概略は次のとおりです。

- 1. パスワードの準備
- 2. 証明書インポートツールのダウンロード
- 3. 証明書インポートツールの起動
- 4. インポートされた証明書の確認
- 2.1 パスワードの準備

証明書を取得するためには、『もみじ法人インターネットバンキングサービス』でご利用 の以下の情報を事前に準備する必要があります。

・パスワード(電子証明書有効期限 28 日前時点のインターネットバンキングのログイン パスワード)

これらの情報に関するご不明点につきましては、サービス提供元へお問合せください。

#### 2.2 アクセスの確認

証明書のインポートを始める前に、アクセスの確認を行ってください。

証明書のインポート操作を行うパソコンから、以下3つの URL にアクセスできることを 確認してください。

https://webra2.secomtrust.net/ http://repo1.secomtrust.net/ http://repository.secomtrust.net/

【アクセスができた場合】

本マニュアル「2.3. 証明書インポートツールのダウンロード」へお進みください。

【アクセスができなかった場合】

・ウィルス対策ソフトなどの影響により、アクセスができない可能性があります。
 ⇒ソフトを一時停止し、上記3つの URL に再度アクセスをお試しください。
 ・ネットワークの設定により、アクセスが制限されている可能性があります。
 ⇒アクセスが正常に行えるように、ネットワークの設定を変更してください。

2.3 証明書インポートツールのダウンロード

以下の URL に Web ブラウザでアクセスし、証明書インポートツールをダウンロードして ください。

◆ 証明書インポートツール ダウンロードサイト <u>https://webra2.secomtrust.net/scira/doc/mmb/expiredrenew.html</u>

証明書インポートツールは ZIP 圧縮された状態でダウンロードされるので、ZIP を解凍した上で、証明書インポートツールを実行してください。

- 2.4 証明書インポートツールの起動
- (1) 証明書インポートツールを起動すると、以下の画面が表示されます。
   『もみじ法人インターネットバンキングサービス』でご利用のログインパスワードを
   ①パスワードを入力し、②更新ボタンをクリックしてください。

🔡 有効期限切	れ証明書更新	$\times$		
有効期限が切れた証明書の更新を行います。 更新する証明書のパスワードを入力のうえ、 更新ボタンを押して更新する証明書を選択してください。				
パスワード: ①				
2	更新キャンセル			

(2) 証明書の選択画面より、①更新対象の証明書を選択し、②OK ボタンをクリックしてく ださい。

	Windows セキュリティ 有効期限切れ証明書の選択	×
1	2019032001testA01v32 発行者: Yamaguchi Financial Group CA 有効期間 証明書のプロパティを表示します	
2	OK キャンセル	

(1) 「証明 ①そのff	書の選択」画面に該当の証明書が表示されていな Neなクリックしてください。	ない場合
	T I I I I I I I I I I I I I I I I I I I	
7	有効期限切れ証明書の選択	
	2019032001testA01v32	
	発行者: Yamaguchi Financial Group CA	
	有効期間:	
5	証明書のプロパティを表示します その他 ①	
	OK キャンセル	
※アクセス) に表示され、 されます。 (2) 証明書	したサイトで許可されている証明書が「証明書の 有効期間開始日が最新の証明書の証明書が 1 ま 一覧が表示されますので、① <u>該当の証明書</u> を選ま タンをクリックしてください	」 選択」 堕 政のみま 尺し、
※アクセス に表示され、 されます。 (2)証明書 ②OK_ボ:	したサイトで許可されている証明書が「証明書の 、有効期間開始日が最新の証明書の証明書が 1 ま 一覧が表示されますので、①該当の証明書を選ま タンをクリックしてください。	」 選択」 個 次 み ま の み ま
※アクセス に表示され、 されます。 (2)証明書 ②OK_ボ:	したサイトで許可されている証明書が「証明書の 、有効期間開始日が最新の証明書の証明書が 1 ま 一覧が表示されますので、① 該当の証明書 を選ま タンをクリックしてください。	」 選択」 個 改 表 見 、
※アクセス に表示され、 されます。 (2)証明書 ②OK ボ:	したサイトで許可されている証明書が「証明書の 、有効期間開始日が最新の証明書の証明書が 1 ま 一覧が表示されますので、① 該当の証明書 を選ま タンをクリックしてください。 Windows セキュリティ 有効期限切れ証明書の選択 2019032001testA01v32	選択」画換のみま
※アクセス に表示され、 されます。 (2)証明書 ②OK ボ:	したサイトで許可されている証明書が「証明書の 有効期間開始日が最新の証明書の証明書が 1 オ 一覧が表示されますので、① 該当の証明書 を選ま タンをクリックしてください。 Windows ビキュリティ 本 有効期限切れ証明書の選択 2019032001testA01v32 発行者: Yamaguchi Financial Group CA	」 選択」 国 現 天 し、
※アクセス に表示され、 されます。 (2)証明書 ②OK	したサイトで許可されている証明書が「証明書の 有効期間開始日が最新の証明書の証明書が1 オ 一覧が表示されますので、① 該当の証明書を選ま タンをクリックしてください。 Windows セキュリティ 有効期限切れ証明書の選択 2019032001testA01v32 発行者: Yamaguchi Financial Group CA 有効期間:	」 選択」 画 現 し、
※アクセス に表示され、 されます。 (2) 証明書 ②OK ボ	したサイトで許可されている証明書が「証明書の 有効期間開始日が最新の証明書の証明書が1 ま 一覧が表示されますので、① 該当の証明書を選ま タンをクリックしてください。 Windows セキュリティ × 有効期限切れ証明書の選択 2019032001testA01v32 発行者: Yamaguchi Financial Group CA 有効期間: 正明音のプロパティを表示します	」 選択」 画表 尺し、
※アクセス に表示され、 されます。 (2) 証明書 ②OK ボ	したサイトで許可されている証明書が「証明書の 有効期間開始日が最新の証明書の証明書が1 ま 一覧が表示されますので、① 該当の証明書を選ま タンをクリックしてください。 Windows セキュリティ × 有効期限切れ証明書の選択 2019032001testA01v32 発行者: Yamaguchi Financial Group CA 有効期間: 正明音のプロパティを表示します その他	」 選択」 画 表 尺 し、
※アクセス に表示され、 されます。 (2) 証明書 ②OK ボ:	したサイトで許可されている証明書が「証明書の 有効期間開始日が最新の証明書の証明書が 1 ま 一覧が表示されますので、① 該当の証明書 を選ま タンをクリックしてください。 Windows セセキュリティ イ 有効期限切れ証明書の選択 2019032001testA01v32 発行者: Yamaguchi Financial Group CA 有効期間: 正明音のプロパティを表示します その他 2019032001testA01v32 発行者: Yamaguchi Financial Group CA 有効期間: ごの他 2019032001testA01v32 発行者: Yamaguchi Financial Group CA 有効期間: 2019032001testA01v32	」 選換のみま
※アクセス に表示され、 されます。 (2) 証明書 ②OK ボ	したサイトで許可されている証明書が「証明書の         有効期間開始日が最新の証明書の証明書が1         一覧が表示されますので、①         該当の証明書         などをクリックしてください。         Windows 世キュリティ         イ 方効期限切れ証明書の選択         2019032001testA01v32         発行者: Yamaguchi Financial Group CA         石効期間:         ご100032001testA01v32         発行者: Yamaguchi Financial Group CA         有効期間: 2016/02/18 から 2019/02/18	」 選換のみま

(3) Windows セキュリティ画面が表示される場合は、①許可ボタンをクリックしてください。

	Windows セキュリティ	;	×		
	資格情報が必要です				
	このアプリが秘密キーにアクセスすることを許可しますか?				
	キーの説明 : CryptoAPI 秘密キー				
	<b>G</b>				
1	許可	許可しない			
			•		

(4)処理中の画面が表示されます。しばらくそのままでお待ちください。

😒 有効期限切れ証明書更新	$\times$
証明書をインポート中です。 しばらくこのままでお待ちください	

(5) 証明機関(CA)から証明書インストールを促されます。
 ①拇印(sha1)に記載された情報が以下の英数字の羅列であることを確認してください。
 拇印(sha1):40A6C237 3D05322D 64087065 04F141D0 0775CD57
 確認後、②はい(Y)ボタンをクリックしてください。

セキュリティ	「警告	$\times$
	発行者が次であると主張する証明機関 (CA) から証明書をインストールしようとし ています:	
	Yamaguchi Financial Group CA G2	
	証明書が実際に "Yamaguchi Financial Group CA G2" からのものであるかどう かを検証できません。 "Yamaguchi Financial Group CA G2" に連絡して発行者 を確認する必要があります。 次の番号はこの過程で役立ちます:	
1	母印 (sha1): 40A6C237 3D05322D 64087065 04F141D0 0775CD57	
	警告: このルート証明書をインストールすると、この CA によって発行された証明書は自動 的に信頼されます。確認されていない拇印付きの証明書をインストールすることは、 セキュリティ上、危険です。[はい] をクリックすると、この危険を認識したことになりま す。	
	この証明書をインストールしますか?	
	(はい(Y) いいえ(N)	

※すでに証明機関(CA)がインストールされている場合は、上記画面は表示されません。

(6) ①OK ボタンをクリックしてください。



以上で証明書のインポートは完了です。

・ ここまでの手順でエラー画面が表示された場合は、本マニュアル「3. トラブルシューティング」をご参照いただき、発生したエラーごとの対処を行ってください。

- 2.5 インポートされた証明書の確認(証明書確認ページ)
- (1) 証明書インポートツール ダウンロードサイトから、『証明書確認ページ』のリンクをク リックしてください。



## ◆ 証明書確認ページ

https://webra1.secomtrust.net/scira/doc/ymfg/

(2) 証明書の要求が行われますので①ダウンロードした証明書を選択し、②OK ボタンをク リックしてください。

※お客様の環境により、以下のダイアログが表示されず、以下の手続き(3)の画面が表示されることがありますが、確認作業には影響はございません。



(3) 証明書が問題なく取得されていれば、以下の画面が表示されます。

証明書確認ページ - Certificate Test Page -
このページにアクセスできたということは、証明書が正常にインボートされています。
As you can access to this page, this means that your certificate was successfully imported.

以上で、証明書発行は完了しました。

証明書確認ページが表示できていれば、証明書をご利用いただける状態になっていま す。

以降 2.6 の操作は、取得した証明書をインターネットオプションにて確認するための 手順です。取得した証明書の状態を確認したいときは、以降の操作を行ってください。

- 2.6 インポートされた証明書の確認(インターネットオプション)
- ウィンドウズのメニューから、①Windows システムツールの、②コントロールパネルを 選択してください。



(2) 表示方法がカテゴリであることを確認し、①小さいアイコンもしくは、大きいアイコン を選択してください。



# (3) ①インターネットオプションを選択してください。

📰 すべてのコントロール パネル項目				×
← → ~ ↑  ™	ネル > すべてのコントロール パネル項目		v   ت	P
コンピューターの設定を調整します	t		表示方法: 小さいアイコン マ	
🏘 BitLocker ドライブ暗号化	💰 Java	🍰 Java (32 ປັ່ງト)	🐻 RemoteApp とデスクトップ接続	
H Windows Defender	🕋 👗 Windows To Go	🔗 Windows ファイアウォール	🖼 Windows モビリティ センター	
🔁 インターネット オブション	📙 🚨 インデックスのオブション	🔛 エクスプローラーのオプション	i== +−π−ド	
🕲 コンビューターの簡単操作センター	🖷 サウンド	🗾 システム	陀 セキュリティとメンテナンス	
🔜 タスク バーとナビゲーション	💷 ディスプレイ	昌 デバイス マネージャー	■電 デバイスとプリンター	
📠 トラブルシューティング	🕎 ネットワークと共有センター	🐌 パックアップと復元 (Windows 7)	🌆 ファイル履歴	
A フォント	👩 プログラムと機能	●▲ ホームグループ	① マウス	
∅ メ−ル	縄 ユーザー アカウント	🟢 ワーク フォルダー	₿ 音声認識	
🧑 回復	🚵 管理ツール	🐻 既定のプログラム	昌 記憶域	
📌 言語	🗾 個人用設定	◎ 資格情報マネージャー	📑 自動再生	
💶 色の管理	፪ 赤外線	₀● 地域	🍃 電源オプション	
🛄 電話とモデム	◎ 同期センター	鹶 日付と時刻		
				_

(4) ①<mark>コンテンツ</mark>タブより、②<mark>証明書 (<u>C</u>)</mark>ボタンをクリックしてください。

インターネット オプション	?	×
全般 セキュリティ プライバシー コンテンツ 接続 プログラム 詳細設	定	
証明者		-
暗号化された接続と識別のための証明書を設定します。		
SSL 状態のクリア( <u>S</u> ) 証明書( <u>C</u> ) 発行元	:( <u>B</u> )	
オートコンプリート 2		-
オートコンプリートによって、Webページで前回入 設定 力した内容を、入力中に補完できます。	D	
ブードと Web スライス		_
フィードと Web スライスは、Web サイトの更新さ 設定( れたコンテンツを Internet Explorer やその他の プログラレッチェーレます	<u>N</u> )	
OK キャンセル	適用(	<u>A</u> )

(5) ①個人タブより、②インストールされた証明書をダブルクリックしてください。

証明書	×
目的(N): 1 <すべて>	~
個人 ほかの人 中間証明機関 信頼されたルート証明機関 信頼された発行元	信頼されない発行元
発行先 発行者	有効期限 フレ ^
🗐 000000001TEST0008l Yamaguchi Financial Group CA G2	ta a la constante de la consta
2	
<	× ·
インボート(I) エクスポート(E) 削除(R)	詳細設定(A)
証明書の目的	
クライアント認証	表示(V)
	閉じる(C)

(6) 選択した証明書の内容が表示されますので、赤枠で囲まれた発行先および発行者に間違 いがないことを確認してください。

	🔒 証明書の	情報	
20	の証明書の目的		
	<ul> <li>リモートコン</li> </ul>	ピューターに ID を証明する	
	発行先:	0000000001TEST0008i	
	発行者:	Yamaguchi Financial Grou	p CA G2
	有効期間		
	🍸 この証明書に	:対応する秘密キーを持っています。	
			※行来のフラートかん(の)
			発行者のステートメント(S)

(7) ① 証明書のパスタブより、赤枠で囲まれている 証明書の状態(S) が『この証明書は問題 ありません。』となっていることを確認し、② OK ボタンをクリックしてください。

😱 証明書	×
全般 詳細 証明のパス 1	
- 証明のパス(P)	
CA G2	
	証明書の表示(V)
証明書の状態(S)·	
この証明書は問題ありません。	]
	J
	UK

(8) ①OK ボタンをクリックしてください。

インターネットオン	プション					?	$\times$
全般 セキ: 証明書	コリティ プライバシー	コンテンツ	接続	プログラム	詳細設定	]	-
	暗号化された接続。	と識別のための	の証明書を	設定します。			
SSL	状態のクリア( <u>S</u> )	証明	書( <u>C</u> )		発行元( <u>B</u> )	)	
オートコンプリ	-ト						
	オートコンプリートによ 力した内容を、入力	って、Web ペ 中に補完でき	ージで前回 きます。	以	設定(!)		
フィードと Wel	> スライス						
5	フィードと Web スライ れたコンテンツを Int プログラムで表示しま	(スは、Web t ernet Explor す。	ナイトの更親 er やその他	新さ bの	設定( <u>N</u> )		
	1	OK		キャンセノ	ŀ	適用(4	<u>1</u> )

以上で証明書が正常にインポートされていることを確認できました。

3. トラブルシューティング

本章では、証明書インポートツールの実行中にエラーが発生した場合に、どのような対処 を行えばよいかご説明します。

エラーの一覧は次のとおりです。

1. 『115:データの問合せに失敗しました。』

- 2. 『証明書がありません。』
- 3. 『550:証明書ファイルは取得できませんでした。認証に失敗しました。』
- 4. 『550:証明書ファイルは取得できませんでした。証明書が作成されていないか、もし くは既に証明書を取得済みです。』
- 5. 『確認ページ』が表示されない。
- 3.1 『115:データの問合せに失敗しました。』
- ◆ エラー画面

有効期限切	りれ証明書更新	Х
8	115:データの問い合わせに失敗しました。	
	ОК	

◆ 原因

このエラーは、証明書を取得するためのインターネット接続に失敗したときに発生し ます。

証明書インポートツールは、次の URL に自動アクセスして証明書等を取得するため、 下記接続先へのアクセス制限を行っていると、上記エラーが発生します。

項番	接続先	IP アドレス	プロトコル
1	webra2. secomtrust. net	165. 100. 2. 114	HTTPS
2	repo1.secomtrust.net	61. 114. 186. 157	HTTP
3	repository.secomtrust.net	61. 114. 177. 151	НТТР

◆ 対処

上記原因に記載された通信が正常に行えるように、ネットワークの設定を変更して ください。 3.2 『証明書がありません。』

# ◆ エラー画面

Windows 有効其	<sub>セキュリティ</sub> 月限切れ証明書の	選択	×
9 <u>=</u>	証明書がありません 条件を満たす証明書だ 続行するには [OK] を い	がありません。 :クリックしてくださ	
	ОК	キャンセル	

#### ◆ 原因

このエラーは、更新対象の証明書が次のように正しくない状態の場合に発生します。

・証明書の選択画面で選んだ証明書の有効期間終了日が 90 日以上経過している場合。

・更新対象の証明書がインストールされていない端末のため証明書を選択できない場合。

◆ 対処

再度、証明書インポートツールを実行し、証明書の選択画面で選んだ証明書の有効期 間終了日が 90 日以上経過していないことを確認してください。

有効期間終了日が 90 日以上 経過している証明書の場合は、証明書の再発行を行い ます。 <証明書の有効期限の確認方法>

(1) 証明書インポートツールを実行し、証明書の選択画面より、

更新対象の証明書を選択し、①証明書のプロパティ表示しますをクリックしてください。

Windows セキュリ 右动期限だ	ディ	×
	2017110600testA02v32 発行者: Yamaguchi Financial Group CA 有効期間	^
() ()	2019032001testA01v32 発行者: Yamaguchi Financial Group CA 有効期間: <u>証明書のプロパティを表示します</u>	
<b>!</b>	2017110900testA01v32 発行者: Yamaguchi Financial Group CA	~
	ОК	キャンセル

(2) ①詳細タブより、②有効期間の終了の値が、現在日時よりも未来の日時であることを 確認してください。

🚂 証明書 🔳		×
全般 詳細 証明のパス		
表示(S): <すバて>	~	
2001@n		
フィールド	值	^
□ バージョン	V3	
📴 シリアル番号	5c 9a 83 70 9d 65 f7 d7	
国客名アルゴリズム	sha1RSA	
国客名ハッシュ アルゴリズム	sha1	
開発行者	Yamaguchi Financial Group	
国有効期間の原始	2019年3月20日 14:25:59	
国サフジェクト	2019032001testA01v32. The	
		•
2020年4月20日 14:07:30		
I		
	プロパティの2月住(に) ファイル(トコピー)	0
		<u>c</u> /
		ОК

3.3 『550:証明書ファイルは取得できませんでした。認証に失敗しました。』

#### ◆ エラー画面



#### ◆ 原因

このエラーは、入力情報(パスワード・証明書の選択)を間違えたとき、 また、パスワードがロック中のとき、パスワードの有効期限が切れているとき、 証明書が再発行済み(古いほうの証明書)であるときに発生します。

◆ 対処

再度、証明書インポートツールを実行して、正しい入力情報を入力してください。 正しい入力情報を入力している場合でも連続してこのエラーが発生する場合は、 証明書の再発行を行います。 3.4 『550:証明書ファイルは取得できませんでした。証明書が作成されていないか、もしく は既に証明書を取得済みです。』

### ◆ エラー画面



#### ◆ 原因

このエラーは、既に証明書をインポート済みの状態で、再度、証明書インポートツー ルを実行したときに発生します。

◆ 対処

証明書のインポートが完了していないにもかかわらず上記エラーが発生する場合は、 証明書の再発行を行います。

(証明書のインポートが完了しているか確認する手順は、本マニュアル「2.5. インポートされた証明書の確認」をご参照ください。)

3.5 『確認ページ』が表示されない。

# ◆ エラー内容

本マニュアル「2.5. インポートされた証明書の確認」を実施して、確認ページにアクセ スすると、以下の画面が表示される。

F	orbidden							
Your client is not allowed to access the requested object.								

◆ 原因

ブラウザのキャッシュに残ったデータが影響している可能性があります。

◆ 対処

以下の手順で SSL 状態をクリアし、すべてのブラウザを閉じて下さい。 その後、改めて確認ページへのアクセスをお試しください。  ウィンドウズのメニューから、①Windows システムツールの、②コントロールパネルを 選択してください。



(2) 表示方法がカテゴリであることを確認し、①小さいアイコンもしくは、大きいアイコン シを選択してください。

🖭 コントロール パネル				-	×
← → ヾ ↑ 🖾 > コントロール パネル			v ق ا		Q
באנר-	ターの設定を調整します		表示方法: カテゴリ マ		
S	システムとセキュリティ コンビューターの状態を確認 ファイル機器でジアイルのバックアップコビーを保存 バックアックで建築で、Vindows 7) 開墾の発見と解決 ネットワークの状態とタスクの表示 ホームのループと大有に置するオグションの選択 ハードウェアとサウンド デバイスをガリンターの表示 デバイスの追加 共通で使うモビリティ砂定の調整 プログラム プログラムの取得	22 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	ユーザーアカウント ♥ アカウントの種類の変更 デスクトップのカスタマイズ テーマの変更 時計、言語、および地域 書語の追加 入力方法の変更 日付、時刻、または数値の形式の変更 コンピューターの簡単操作 設定の機変の表示 機関ディズブレイの最速化		

(3) ①インターネットオプションを選択してください。

💹 すべてのコントロール パネル項目				- 🗆	>
🔶 🔶 🔺 🖿 🙁 אר-חאגב א 🗧	Ւル → すべてのコントロール パネル項目		✓ Č		م ر
コンピューターの設定を調整します			表示方法:小さい	アイコン 🔻	
🏘 BitLocker ドライブ暗号化 🏾 🍙	💰 Java	الله المعني (32 الأسلم) Java (32 الأسلم)	🐻 RemoteApp とデスクトップ接続		
Windows Defender	📥 Windows To Go	🔗 Windows ファイアウォール	🖼 Windows モビリティ センター		
🔁 インターネット オブション	🚨 インデックスのオプション	🔛 エクスプローラーのオプション	□□□ キーボード		
6 JJC1 / WIEFFE//	🖷 サウンド	🔜 システム	陀 セキュリティとメンテナンス		
🖳 タスク バーとナビゲーション	💷 ディスプレイ	🎂 デバイス マネージャー	💼 デバイスとプリンター		
📧 トラブルシューティング	🕎 ネットワークと共有センター	🐌 パックアップと復元 (Windows 7)	🌄 ファイル履歴		
A フォント	👩 プログラムと機能	・▲ ホームグループ	マウス		
⑳ メール	縄 ユーザー アカウント	👔 ワーク フォルダー	⊕ 音声認識		
🐼 回復	◎ 管理ツール	■ 既定のプログラム	昌 記憶域		
🗫 言語	赋 個人用設定	◎ 資格情報マネージャー	📑 自動再生		
💶 色の管理	₫ 赤外線		🍃 電源オプション		
画 電話とモデム	◎ 同期センター	🔐 日付と時刻			

(4) ①コンテンツタブより、②SSL 状態のクリア (<u>S</u>) ボタンをクリックしてください。

インターネット オプション ①	?	×
全般 セキュリティ プライバシー コンテンツ 接続 プログラム 詳細設	定	
証明者		-
暗号化された接続と識別のための証明書を設定します。		
SSL 状態のクリア( <u>S</u> ) 証明書( <u>C</u> ) 発行元	( <u>B</u> )	
オートコンプリート 2		-
オートコンプリートによって、Webページで前回入 設定	D	
71-F2 Web スライス		_
フィードと Web スライスは、Web サイトの更新さ 設定( れたコンテンツを Internet Explorer やその他の プログラムで表示します。	<u>N</u> )	
OK キャンセル	適用	( <u>A</u> )

- (5) すべてのブラウザを閉じる。
- (6) 新しいブラウザを開き、確認ページへアクセスする。

以上